

市民自治



住民の意見を
取り入れた
使いやすい地区
センターを



おさないくにゆき
小山内 國行さん
(73歳・清田区在住・
美しが丘式番街町内会長・
清田区地区センター
ワークショップに参加)

市民の皆さんが、自分たちの地域のことを主体的に考え、課題を解決するために自ら行動する「市民自治」。市民自治の力を高めていくために、引き続き、市民の活発な交流や連携を図る事業を推進します。

せっかく地区センターを建てても、地域の人たちに使われなければ意味はありません。そのためにも、地域住民が責任を持って、今後の使い方を含め、設計に参加する必要があるのではと思います。

清田区地区センター建設

予算 1億5,000万円 (18年度整備分)

地域のコミュニティ活動の拠点となる地区センター。清田区では、地域の方の意見を取り入れたセンターを、里塚・美しが丘地区に建設します。今年度は用地取得と設計を行い、完成は平成20年春頃の予定です。

一口メモ

平成16年から、公募による地域住民約30人が議論を重ねた結果、体育室や図書室の規模を縮小し、子育て世代を支援する絵本を設けた子育てスペースや、誰もが気軽に交流できるコーナーを大きくした地区センター案が完成しました。今年度はこの案を基に設計を行います。

詳細 清田区地域振興課 ☎889-2400

住民の意見を取り入れて建設された西区・はちけん地区センター



市民自治の基本ルールを条例化

予算 700万円

市民主体のまちづくりの土台となる「自治基本条例」。多様な価値観を持つ市民とともにまちづくりを行うため、市民参加や情報共有などの共通ルールの条例化に向けた取り組みを行います。



市民自治に関する勉強会などを開催する予定です

中の島まちづくりセンターの改築

予算 1億3,300万円

老朽化したまちづくりセンターと地区会館の建て替えを行い、地域住民が気軽に集えるよう情報交流スペースを設けます。

区のまちづくり支援

予算 4億円

区や地域の特性を生かした、魅力的で活力あるまちづくりのため、市民のさまざまな取り組みを支援します。